

2008年12月9日

兵庫県立大学大学院
会計研究科をご支援頂いている皆様

兵庫県立大学大学院
会計研究科長

平成20年度公認会計士試験の結果についての所感

拝啓

ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本研究科の教育・研究活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、平成20年度公認会計士試験の結果が発表されましたので、本研究科の状況をご報告いたします。本研究科では、在学する公認会計士志望者のうち8名が短答式試験を合格しており、この8名が論文式試験を受験し、5名が平成20年度公認会計士試験合格者となり、62.5%の合格率となります。この数字は、全国平均の39.1%（会計専門職大学院に在学する論文式受験者133名中52名）を上回るものです。会計専門職大学院の在学合格者52人中5名ですので、合格者の約1割程度が本学在学者で占められました。このことは、ひとえに、本研究科の学生諸君やスタッフの努力と、日頃より本研究科の教育・研究活動をサポート頂いている皆様のおかげと感謝しております。

これで、昨年合格者1名を加え、本研究科からの合格者は6名となりました。公認会計士試験合格は本研究科の教育活動の一端にすぎませんが、この3月には短答式試験の一部免除を得て大学院を修了し、公認会計士を目指す学生が本学を巣立つことから、今後はさらに外部からの評価にさらされることとなると存じます。しかし、そのような外部評価とは別に、「現場で生きる実践知と健全な判断力をもつ会計プロフェッションの育成」という教育方針に沿って、学生の教育に当たっていききたいと気持ちを新たにしているところです。皆様におきましては、今後とも、兵庫県立大学大学院会計研究科に変わらぬご支援を頂きますようよろしくお願いいたします。

敬具